

## 結びに



獅子の如くは、吉祥院六齋念仏踊りの歴史調査を通して六齋保存継承に少しでも寄与するため、2010（平成22年）年4月1日に地元の若手を中心に設立いたしました。以来、六齋の歴史的意義を広く伝える講演会、報告会、ミーティング（総会）、保存会との交流、年2回の会報「獅子の如く」刊行（4/25・8/25）などの活動を行って参りました。

今後も若手会員を中心に他の六齋保存会の交流会や見学会、調査研究、講演会、ミーティング（総会）、会報「獅子の如く」刊行、六齋寺子屋など引き続き取り組む計画をしております。

私たちの祖先が幾多の困難を乗り越え、これまで守り続けてきた京都の代表的な伝統芸能である吉祥院六齋念仏踊りは、国の重要無形民俗文化財の指定を受け、伝統芸能としての高い評価をいただいております。

この度、石田房一代表が獅子の如く創刊を編集され、吉祥院六齋保存会をはじめ、多くの関係各位のご協力、ご支援をいただき、出版出来たことは誠に喜びに絶えないところです。

近年、地域社会の変化や少子高齢化などの伴い、吉祥院六齋念仏踊りの保存、継承には、担い手育成問題等、年々困難な課題を抱えております。獅子の如くが吉祥院六齋念仏踊りの継承・発展の課題を探る手引きにしていいただければ幸いです。さらにその保存、継承に向け微力ではありますが、六齋の発展と担い手育成に取り組んで参る所存です。

獅子の如く発刊に当たり、ご協力、ご支援をいただきました吉祥院六齋保存会をはじめ、取材等にご協力いただいた関係各位に心からお礼申し上げます。

2013（平成25）年2月15日



吉祥院六齋歴史資料展示室にて  
獅子の如く顧問 關 正 雄